

〔奨 励 賞〕 加圧ゲルインキボールペン「デコレーゼ」



代表取締役社長
西村 彦四郎 氏

株式会社 サクラクレパス

〒540-8508 大阪府大阪市中央区森ノ宮中央1-6-20

TEL. 06 (6910) 8800

<http://www.craypas.com/>



サクラクレパスの「デコレーゼ」は新たに開発した加圧容器機構による筆記具。筆記した線がぷっくりと盛り上がる新感覚と、普通のボールペンでは滑って筆記できないプラスチックなどの非吸収面にも使える。まず女性ユーザーを意識して製品化した。この加圧容器は今後、応用展開され、筆記具の多様化を支える機構と期待している。

インクはきらきら光る大粒ラメが入っている。筆記線が細く文字はつぶれにくい。紙に書くだけでなく、携帯電話やスマートフォンの手書きデコレーションにも使える。

新感覚の筆記線の秘訣は、インクの成分とペン内部の加圧機構。ゲル状インクは通常成分のほかに、接着剤、プラスチックでもはじかないようにする特殊成分が配合してある。そのインクをバネで加圧し、ペン先を筆記面にあてるとインクがなめらかに押し出される。

加圧機構は多くの工夫が盛り込まれ、インクの次に油をゲル化させた層を複数作り、そこを後ろからバネで押す。加圧バネはペンの使い始めから終わりまで、力の変化が小さいように設計している。

ペン先にもバネ内蔵で、筆圧でボールペンチップのボール部分が押し込まれてできる隙間から、適量インクが出る。書く速度でインクの流出量を変えられる。

一本200円という市場価格。キーパーツの特殊形状バネも大きなコストは割けない。研究所が立地する東大阪でちよ技を持つバネ会社の存在も支えになっている。約10年前、西村貞一社長（現会長）が「こんなのができないか」と研究所に投げかけたのが開発の発端。2008年末に本格的に着手、5年がかりで製品化した。